

第21期第3研究

「アメリカン・ボードと日本のキリスト教主義学校」

研究代表者：森田喜基

1. アメリカン・ボードの日本伝道

アメリカ会衆派教会の宣教団体であるアメリカン・ボードの日本伝道は、1869年に最初の宣教師、D.C. グリーンが神戸に派遣されたことに始まる。改革派や長老派より10年遅れての開始であり、競争を避けるために開港直後の神戸に拠点を設けた。1870年に設立された神戸ステーションを拠点として、神戸女学院（1875年）や同志社（1875年）などの教育機関が誕生した。

同志社の設立に関しては、新島襄がアメリカ・バーモント州ラットランドのグレイス教会で行った演説により5000ドルの寄付を集めたことが大きな礎となった。この出来事から150年を迎えた昨年、同志社はグレイス教会で記念礼拝を実施した。

2. アメリカン・ボードによる教育機関の設立

アメリカン・ボードおよびその関係者によって設立された主な学校は以下の通りである。

1875年 女学校（現・神戸女学院）、同志社英学校（現・同志社大学）

1876年 女子塾（現・同志社女子中学校・高等学校、同志社女子大学）

1878年 梅花女学校（現・梅花学園）

1880年 女子伝道校（後の神戸女子神学校、聖和大学、現・関西学院大学教育学部、関西学院短期大学）

1881年 順正女学校（後に岡山県立高梁高等女学校に移管）

1886年 松山女学校（現・松山東雲学園）、宮城英学校（廃校）、山陽英和女学校（現・山陽学園）

1887年 熊本英語学会（廃校）、鳥取英和女学校（廃校）、新潟女学校（廃校）、北越学館（廃校）

1888年 前橋英和女学校（現・共愛学園）

1889年 頌栄保姆伝習所（現・頌栄保育学院）

1891年 普通夜学会（現・松山城南高校）

3. 研究成果と考察

本研究では、アメリカン・ボードの支援を受けて設立された学校が、日本社会においてどのような役割を果たしたかを検証した。これらの学校は西洋の教育をもたらしたのみにとどまらず、自由自治や個人主義といったプロテスタント、特に会衆派教会の信仰に基づく価値観を日本にもたらした点で重要な意義を持つ。

また、本年度の研究活動の一環として公開講演会を実施し、アメリカン・ボードと各学校の関係について発表・討議を行った。特に、神戸女学院と同志社の150周年という節目の年に、学校間のネットワークがどのように形成され、それが当時の日本社会にどのような影響を及ぼしたのかを検証した。